

請 願 文 書 表

受付番号	第19号
受付年月日	令和6年8月9日
件名	学校給食の無償化を実現してください
請願者	三田市 XXXXXXXXXX 新日本婦人の会三田支部 支部長 松原 慶子
要旨	<p>< 請願の趣旨 ></p> <p>この間、コロナ禍や終わりの見えない物価高騰などの影響で、市民の負担は増大しています。特に子育て世帯に与える影響は大きく、厚生労働省が行っている2023年国民生活基礎調査の結果でも18歳未満の子どもがいる世帯の65%が「生活が苦しい」と回答しています。</p> <p>一方、2021年の調査では貧困率についても調査されており、日本の子どもの貧困率は11.5%、特に一人親家庭の貧困率は44.5%と半数近くに上ります。「まともな食事は給食だけ」という貧困家庭の子どももあり、子どもの命と健康を守る点でも学校給食は大きな役割を果たしています。</p> <p>加えて、憲法第26条は「義務教育費は、これを無償とする」と定めています。給食は食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける食育であり、教育の一環です。義務教育として無償化すべきではないでしょうか。</p> <p>今、全国で給食費無償化自治体が広がっています。県内では小・中学校とも相生市、加西市、香美町、新温泉町、加東市、三木市。中学校のみは、明石市、たつの市、伊丹市が無償化しています。</p> <p>負担の増大している子育て世帯への支援として、義務教育は無償の観点から、ぜひ、三田市として小・中学校の給食無償化を実現してください。</p> <p>< 請願項目 ></p> <p>一 学校給食への公的補助を強め、学校給食無償化を実現してください。</p>
紹介議員	水元 サユミ
付託委員会	福祉教育常任委員会